

平成 25 年度第 2 回 ISO/TC46/SC4 国内委員会議事録

1. 日時 : 2014 年 1 月 15 日 10 時 ~ 12 時

2. 場所 : 文京区シビックセンター3 階 会議室 C
(文京区春日 1-16-21)

3. 出席者 :

委員	宮澤彰	国立情報学研究所 (SC4 リーダ)
	安形輝	亜細亜大学
	川瀬直人	国立国会図書館
	小島裕一	株式会社リコー
	鈴木努	早稲田大学
	村田良二	東京国立博物館
	吉田直樹	日本図書館協会
経済産業省	亀山孝弘	産業技術環境局情報電子標準化推進室
事務局	光富健一	情報科学技術協会

4. 配布資料 :

平成 25 年度 ISO/TC46/SC4 国内委員会第一回委員会議事録

資料 1 : 2013 年度 ISO/TC46 投票済み案件と投票審議案件

資料 2 : 国際図書館資料識別子 (仮称) の検討について

資料 3 : NP 投票 (新業務項目提案) の質問と回答

資料 4 : ISO/TC46 meeting week in Washington D.C., USA 5th to 9th May 2014

資料 5 : ISO/TC46/SC4 Technical interoperability

資料 6 : ISO28560-4 TS or TR の発行投票について

5. 議題 :

5-1) 前回議事録の確認

5-2) 平成 25 年度 ISO/TC46/SC4 投票済み案件と投票審議案件

資料 1 に基づいて前回委員会以降に投票した案件 3 件について、宮澤リーダーと担当委員から説明があった。また、担当委員から資料 6 に基づき、2014 年 3 月 1 日が回答期限の投票審議案件である「ライブラリ内の RFID」について説明があった。主として、前回提案 (7/8) に対して付けた日本からの意見で却下された JPN1、JPN2 への対応について議論を行った。JPN2 については改めて主張はしない

ことになった。理由としては、現在の日本の実装では使われておらず、EPCでは貸出フラグを拡張領域に入れることが決まり、新しいISOになる予定であるため、JPN1については、技術的なコメントというよりは文章に対するコメントなため、Approvedとした上で、改めてコメントすることとした。

5-3) 国際図書館資料識別子(International Library Item Identifier)の国際提案について

SC9からのNWIP提案を目指し、ワーキンググループを結成し、検討を始めた。なお、SC4からもこのWGに参加している。第一回のWG会合記録に基づいて検討内容が紹介された。国際図書館資料識別子はISILと各図書館の管理番号の組み合わせとして提案する予定である。このSC4の会合では、国際図書館資料識別子について、その必要性、利用するさいの問題(付与する単位等)について各委員から意見を伺った。

5-4) NWIP投票について(2012年10月以降変更)

事務局より2012年10月以降の変更について紹介があった。各投票についてApprovedであってもDisapprovedであっても理由を書く必要がある。理由を書かない場合、無効投票となる。

5-5) 2014年ISO/TC46ワシントン総会について

2014年5月5日から9日にかけてワシントンDCの米国議会図書館で開催される。本委員会からも参加する予定である。国会図書館からも委員が派遣される予定であるが、SC4かSC9の委員になるかは未定である。

5-6) その他